令和7年度
総合型選抜 <一般枠>
小論文問題紙

工学科 化学生命 プログラム

【小論文テーマ】

生物が保有するすべての遺伝情報であるゲノムの一部を設計、改変する新しいバイオ技術として提案されている「ゲノム構築」について書かれた別紙の課題文を読んで、下の①と②について小論文にまとめてください。

- ① 課題文中の下線部に書かれている「ゲノム構築」を応用することで期待できる変革または問題解決について、課題文の内容を参考にしながら考えて400字以内で述べてください。
- ② 「ゲノム構築」のように自在に生物の遺伝子配列を改変するようなバイオ技術が普及することによって起こりうる問題点について、あなたの意見を含めて300字以内で述べてください。

※ ①は原稿用紙のNo.1に、②は原稿用紙のNo.2にそれぞれ分けて書いてください。

【注意】

- (1) 解答紙左上の受験番号欄に受験番号のみを記入し、氏名および題目は記入しないでください。
- (2) 本紙（問題紙）は持ち帰ってください。

宮崎大学工学部

[課題文]

この部分については、著作権保護の観点から公開しません。

出典：2023年4月28日 朝日新聞 朝刊 25 ページ 「(科学とみらい) 二重らせん、
発表から70年：中 ゲノム構築時代、将来の産業変える？」